

第5回協議会（勉強会）の概要について

1 日時

平成24年8月9日（木）15:40～16:40

2 出席者

- 平田静太郎委員長
- 藤岡庄司委員長職務代理
- 松村佳子委員
- 花山院弘匡委員
- 佐藤進委員
- 富岡将人教育長

3 第5回テーマ

「奈良の伝統、文化、自然等に関する学習『奈良TIME』について」

4 協議内容

- 平成25年度から県立高校に入学する全ての生徒を対象に実施する、郷土奈良の伝統、文化等に関する新しい学習「奈良TIME」について、そのねらいや全体計画、教育課程上の位置付け等、事務局から説明があった。また、「奈良TIME」が単なる机上の学習に終わることのないよう、郷土に存在する数多くの歴史・文化遺産等に実際に触れ、体験する等の指導の在り方を事例で示した指導資料を作成したことを報告した。
- 委員から、指導資料の内容や学習の進め方について質疑があった。これに対して、事務局が、指導資料では、奈良の地で1300年前に編纂された「古事記」や世界遺産等を題材に30の事例を紹介していることや、一口メモを加えて生徒の興味・関心を高める工夫を行っていること、学習形態については、クラス単位や学年単位、学期ごとのローテーション等、各学校の実態に合わせて実施することができると説明した。
- 委員から、指導事例との関連教科として、奈良の古典芸能や、舞楽・雅楽等音楽に関係する分野が少ないのではないかと意見が出され、これに対して、教育長が、意見を反映させるとともに、今後も教材の充実に努めていきたいと回答した。その他、偉人の卓越した技術力に感動したり、生き様に触れたりするような授業を行ってほしいとの意見も出された。
- 教育長から、「奈良TIME」での学びを通して、生徒たちが主体的に考え、自律的に判断し、責任をもって実行できる主体性のある人間として、これからの国際社会の中で活躍していくことを期待していると説明があった。これに対して、委員からは、「奈良TIME」の実施により、幼稚園、小・中学校、高校と郷土の学習がつながり、奈良らしい教育が一步進むのではないかと意見や、奈良で生まれ育った子どもたちが、奈良を愛し、奈良に誇りをもってくれることを願うとの意見が出された。
- 次回は9月6日（木）で、「地域教育力の向上」について議論を進めることにする。